

**お客様各位**

**REP No. DRIVE2021A-29**

2021年4月  
富士電機株式会社

**現場型診断装置**

**「SignAiEdge」バージョンアップのご案内**

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素より、当社製品をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。  
さてこの度、現場型診断装置「SignAiEdge」のバージョンアップを行いましたので、ご案内申し上げます。

敬具

- 記 -

**1. 製品型式**

UHK-0034、UHK-0035、UHK-0036、UHK-0037、UHK-0038

**2. バージョン**

シリーズ	項目	変更前	変更後
SignAiEdge	本体ソフト	V1.900.1.40	V2.300.1.50
	OS	V3.51 SignAiEdge	V3.52 SignAiEdge

**3. 変更内容**

- ・ロット管理機能追加
- ・診断センサ HUB 連携機能追加

**4. バージョンアップスケジュール**

2021年4月1日生産分よりバージョンアップ

**5. 添付資料**

SignAiEdge バージョンアップ情報

以上

## 現場型診断装置「SignAiEdge」バージョンアップ情報

### 1. 対象バージョン

作画ソフト VSFT-6 : Ver. 6.1.1.0

SignAiEdge 本体プログラム : V2.300.1.50 、 OS : V3.52 SignAiEdge

エンジニアリングツール SignAiEdgeEngineer.xlsm : V1.50

### 2. バージョンアップ時期

2021 年 4 月

### 3. 追加機能

#### ①ロット管理機能

計測データ、診断結果データをロット単位で管理し、ロット単位のトレンド表示および、アラーム履歴の一覧表示を行う機能です。ロット単位でデータを管理することにより、ロット内の傾向を見える化し、異常時の傾向を察知する事が可能となります。機能追加に伴い、制御デバイス/情報出力デバイス/ロット ID デバイスを追加しています。

#### ②診断センサ HUB 連携機能

SignAiEdge で振動データの解析診断を行うための機能で、振動診断モードを選択することで使用可能です。通常モード（PLC からのデータ収集 & 診断）との併用はできません。

診断センサ HUB※と連携することで振動データの収集（高速サンプリング）を実現し、振動に特化した解析システムの構築が可能となります。SignAiEdge は診断センサ HUB から転送された振動データに対して前処理（FFT）を行い、解析診断を行います。

※ 診断センサ HUB とは、3 軸加速度センサを内蔵した製品です。詳しくは以下の URL をご覧ください。

<https://www.fujielectric.co.jp/products/fa/sensor-hub/>

#### ③セットアップツールのバージョンアップ

データ管理から転送までのエンジニア手順を簡素化し、エンジニアツールで V-SFT と同等のデバイス設定（入力ダイアログ形式）が可能になりました。PLC のデバイスに合わせて 10 進数/16 進数の入力ができます。

SignAiEdge への初期設定は、V-SFT からの書込み（転送）のみで完結可能になりました。MSPC 連携機能を使用することで、VSFT-6 からエンジニアリングツールを自動で起動できます。本体設定データ（.usae）と診断設定ファイル（.cfg）を連携させることで、2 つのファイルを同時に管理することができます。

#### ④その他の変更点

- ・除外機能…データ収集時のパラメータ設定にて[対象/非対称]の他に[除外]を設けました。
- ・診断履歴…カレンダー表示部で履歴データが存在する日付は色付け表示に変更しました。

以上